

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

## 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査等の結果を含む記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	呼吸器外科手術患者の術後成績に影響を及ぼす術前の身体機能因子の実態調査
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 心臓血管・呼吸器外科 准教授 大谷真二
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2035年3月31日
対象となる方	2020年4月から2030年3月に当院にて呼吸器外科手術を施行された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、合併症、既往歴、身体所見、血液検査、画像検査、呼吸機能検査、理学療法評価(身体機能、運動耐容能等)、治療状況、退院後の状況(再入院、生存情報) 等
研究の概要 (目的・方法)	呼吸器外科手術患者を対象に、術前の身体機能や運動耐容能などの理学療法評価が、術後回復指標および退院後転帰に及ぼす影響を明らかにし、個別化周術期リハビリテーション戦略の構築に資することを目的とする。観察研究として、診療録から術前評価項目を収集し、術後肺合併症、術後歩行開始日、術後入院日数、退院後30日・90日の再入院および死亡との関連を統計学的に解析する。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究とし

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：2026年1月21日 第1版

	て倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院リハビリテーション部 石川勇登 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5723